

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-185568

(P2009-185568A)

(43) 公開日 平成21年8月20日(2009.8.20)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
E 0 6 B 3/72 (2006.01)	E 0 6 B 3/72	2 E 0 1 6
E 0 6 B 3/70 (2006.01)	E 0 6 B 3/70	D
E 0 6 B 3/58 (2006.01)	E 0 6 B 3/58	D

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2008-28729 (P2008-28729)	(71) 出願人	390005267
(22) 出願日	平成20年2月8日(2008.2.8)		Y K K A P 株式会社
			東京都千代田区神田和泉町1番地
		(74) 代理人	100073818
			弁理士 浜本 忠
		(74) 代理人	100096448
			弁理士 佐藤 嘉明
		(72) 発明者	近藤 大介
			東京都千代田区神田和泉町1番地 Y K K
			A P 株式会社内
		Fターム(参考)	2E016 AA02 AA03 BA08 CA01 CB01
			CC02 DA04 DB02 DC01 DC05
			HA10 JA01 JA11 JA19 KA05
			LB09 LC02 MA01

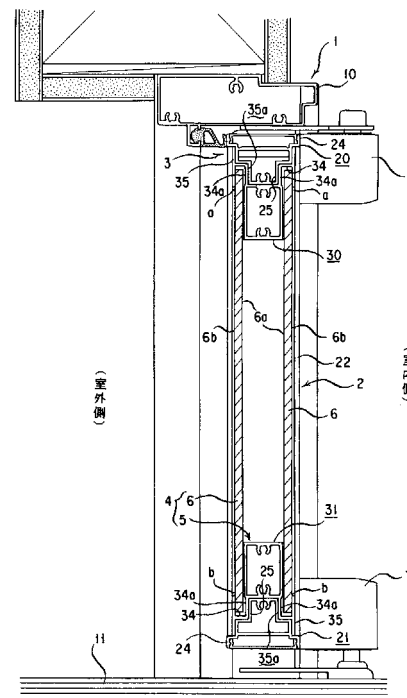
(54) 【発明の名称】 建具体

(57) 【要約】

【課題】 見栄えが良く強固に連結された建具体とする。

【解決手段】 枠体3に、面材支持枠5に面材6を取付けた面材ユニット4を取付けて建具体2とし、前記枠体3の相対向した第1・第2框20、21は内向突部25を有し、相対向した第3・第4框22、23は内向凹部26を有し、前記面材支持枠5の第1・第2・第3・第4面材支持材30、31、32、33は面材取付部34、36と框取付部35、37を備え、その相対向した第1・第2面材支持材30、31の框取付部35の外向凹部35aに前記第1・第2框20、21の内向突部25を嵌合して連結する。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

枠体に、面材支持枠に面材を取付けた面材ユニットを取付けた建具体であって、
前記枠体は、本体と内向突部を備え相対向した第 1 框、第 2 框と、内向凹部を備え相対向した第 3 框、第 4 框を方形状に連結し、
前記面材支持枠は、面材取付部と框取付部を備え、その框取付部に外向凹部を有した相対向した第 1 面材支持材、第 2 面材支持材と、面材取付部と框取付部を備え相対向した第 3 面材支持材、第 4 面材支持材を方形状に連結し、
前記第 1・第 2 面材支持材の框取付部の外向凹部に第 1・第 2 框の内向突部を嵌合して連結し、
前記第 3・第 4 面材支持材の框取付部を、第 3・第 4 框の内向凹部に嵌合して連結したことを特徴とする建具体。

10

【請求項 2】

面材支持材の面材取付部は、面材の表面よりも面外方向外側に位置する面材支持片を有しており、
第 1・第 2 框の表面が第 1・第 2 面材支持材の表面で覆われ、
第 3・第 4 面材支持材の表面が第 3・第 4 框の表面で覆われた請求項 1 記載の建具体。

【請求項 3】

第 1・第 2 面材支持材の框取付部は、外側部分と、この外側部分よりも面内方向内側に位置し、且つ外側部分よりも見込み寸法が小さい内側部分を備え、
前記内側部分の見込み寸法は、面材取付部の見込み寸法よりも小さく、面材がこの内側部分の面外方向外側に位置して取付けてある請求項 1 又は 2 記載の建具体。

20

【請求項 4】

第 1・第 2 面材支持材の面材支持片の長手方向端面が第 3・第 4 面材支持材の面材支持片の端面に接し、
前記第 3・第 4 面材支持材の面材支持片が第 3・第 4 框の内向凹部内に嵌まり込んで、その面材支持片が第 3・第 4 框の表面で覆われるようにした請求項 3 記載の建具体。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、室内間仕切りに用いる片開きドアの扉、引き違いサッシの障子などの枠体に面材を装着した建具体に関する。

30

【背景技術】**【0002】**

従来、特許文献 1 に開示された建具体（パネル体）が知られている。

この建具体は、上框（上枠材）、下框（下枠材）、左右の縦框（縦枠材）を方形状に連結した枠体（パネル枠）に、面材ユニット（パネル製ユニット本体）を装着してある。その面材ユニットは、上・下、縦面材支持枠（額縁構成材）を方形状に連結した面材支持枠（額縁）に面材（パネル）を装着したもので、その各面支持枠材が各框の内向凹部に嵌合して取付けてある。

40

【特許文献 1】実開昭 56-65088 号公報**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

前述した従来の建具体は、面材支持枠の四周が枠体の各框の内向凹部に嵌合して取付けてあるので、面材の表面が四周全てにおいて見込み方向内側寄りとなるから、枠体の表面と面材の表面との間に大きな段差が四周連続して生じ、表面の見栄えが悪い建具体である。

【0004】

本発明の目的は、表面の見栄えが良く強固に連結された建具体とすることである。

50

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明は、枠体に、面材支持枠に面材を取付けた面材ユニットを取付けた建具体であって、

前記枠体は、本体と内向突部を備え相対向した第1枠、第2枠と、内向凹部を備え相対向した第3枠、第4枠を方形状に連結し、

前記面材支持枠は、面材取付部と枠取付部を備え、その枠取付部に外向凹部を有した相対向した第1面材支持材、第2面材支持材と、面材取付部と枠取付部を備え相対向した第3面材支持材、第4面材支持材を方形状に連結し、

前記第1・第2面材支持材の枠取付部の外向凹部に第1・第2枠の内向突部を嵌合して連結し、

前記第3・第4面材支持材の枠取付部を、第3・第4枠の内向凹部に嵌合して連結したことを特徴とする建具体である。

【0006】

本発明においては、面材支持材の面材取付部は、面材の表面よりも面外方向外側に位置する面材支持片を有しており、

第1・第2枠の表面が第1・第2面材支持材の表面で覆われ、第3・第4面材支持材の表面が第3・第4枠の表面で覆うことができる。

このようにすれば、枠体と面材支持枠とが重なり合って連結しているので、建具体における枠体と面材支持枠の露出する面積を小さくして面材を大きく見せることができ、建具体の表面の見栄えが良くなる。

【0007】

本発明においては、第1・第2面材支持材の枠取付部は、外側部分と、この外側部分よりも面内方向内側に位置し、且つ外側部分よりも見込み寸法が小さい面内方向の内側部分を備え、

前記内側部分の見込み寸法は、面材取付部の見込み寸法よりも小さく、面材がこの内側部分の面外方向外側に位置して取付けることができる。

このようにすれば、面材を大きくすることができる。

【0008】

本発明においては、第1・第2面材支持材の面材支持片の長手方向端面が第3・第4面材支持材の面材支持片の端面に接し、

前記第3・第4面材支持材の面材支持片が第3・第4枠の内向凹部内に嵌まり込んで、その面材支持片が第3・第4枠の表面で覆われるようにできる。

このようにすれば、第3・第4面材支持材が第3・第4枠で覆われて見えないので、見栄えが良い。

【発明の効果】

【0009】

本発明によれば、相対向した第1・第2面材支持材と第1・第2枠部分においては、第1・第2面材支持材の外向凹部内に第1・第2枠部分の内向突部が挿入されて連結しているので、この部分においては、面材の表面を見込み方向外側寄りにすることができる。

よって、表面の見栄えが良い。

また、相対向した第1・第2面材支持材の枠取付部の外向凹部に第1・第2枠の内向突部を嵌合して連結され、第3・第4面材支持材の枠取付部が相対向した第3・第4枠の内向凹部に嵌合して連結されるので、強固に連結され、枠体に面材ユニットをしっかりと取付けできる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

図1に示すように、建具枠1に建具体2を取付けて建具、例えば室内間仕切り（スクリーンパーティション）の片開きドアとしてある。

前記建具体2は、枠体3に面材ユニット4を装着してある。

10

20

30

40

50

前記面材ユニット４は面材支持枠５に面材６を装着したものである。

前記建具枠１は、上枠１０と下枠１１と左縦枠１２と右縦枠１３を方形状に連結してある。この実施の形態では下枠１１は床面としてある。

【００１１】

前記枠体３は、相対向した第１框、例えば上框２０と第２框、例えば下框２１及び、相対向した第３框、例えば左縦枠２２と第４框、例えば右縦枠２３を方形状に連結してある。

前記面材支持枠５は、相対向した第１面材支持材、例えば上面材支持材３０と、第２面材支持材、例えば下面材支持材３１及び、相対向した第３面材支持材、例えば左面材支持材３２と、第４面材支持材、例えば右面材支持材３３を方形状に連結してある。

10

前記面材６はガラスであるが、パネルでも良い。

【００１２】

前記上框２０と下框２１は図２に示すように、本体２４と、この本体２４の面内方向内側に設けた面内方向内側に突出した内向凸部２５を備えている。

前記上面材支持材３０と下面材支持材３１は図２に示すように、面材取付部３４と、この面材取付部３４の面内方向外側に設けた框取付部３５を備え、この框取付部３５は面内方向外側に開口した外向凹部３５ａを有している。

前記左縦框２２、右縦框２３は図３に示すように、面内方向内側に、面内方向内側に向けて開口した内向凹部２６を有している。

前記左面材支持材３２、右面材支持材３３は、面材取付部３６と、この面材取付部３６の面内方向外側に設けた框取付部３７を有している。

20

前述の面内方向とは室内外側方向（見込み方向）と直交した上下、左右方向で、面内方向内側とは対向した框に向かう側（例えば、左縦框２２における面内方向内側は、左右方向で右縦框２３側）で、面内方向外側とは対向した框に向かう側と反対側（例えば、左縦框２２における面内方向外側は、左右方向で右縦框２３側とは反対側）である。

【００１３】

前記各面材取付部３４、３６は四周連続し、略Ｕ字状に形成された各取付面３４ａ、３６ａは面一に連続し、面材６の周縁部分が取付けられる。例えば、裏面６ａの周縁部分が取付面３４ａ、３６ａの接着面に接着剤等で接着して取付けてある。

前記各面材６の表面６ｂは、各面材取付部３４、３６の表面よりも面外方向（室内外側方向）の内側寄りである。

30

前記面材取付部３４、３６の表面とは、面材取付部３４、３６における最も面外方向外側寄りの表面（後述する面材支持片３８、３９の表面）である。

【００１４】

図２に示すように、前記上面支持材３０の外向凹部３５ａに上框２０の内向突部２５が嵌合して上面材支持材３０と上框２０が連結され、面材取付部３４の表面（面材支持片３８の表面）と面材６の表面６ｂとの段差ａが外部に露出する。

前記下面材支持材３１の外向凹部３５ａに下框２１の内向突部２５が嵌合して下面材支持材３１と下框２１が連結され、前記面材取付部３４の表面（面材支持片３８の表面）と面材６の表面６ｂとの段差ｂが外部に露出する。

40

【００１５】

このようであるから、建具体２の上部と下部においては、上下面材支持材３０、３１の面材取付部３４（面材支持片３８）の表面と面材６の表面６ｂとの間の段差ａ、ｂが見える。この段差ａ、ｂは小さいものである。

【００１６】

図３に示すように、前記左縦框２２、右縦框２３の内向凹部２６に左面材支持材３２、右面材支持材３３の框取付部３７がそれぞれ嵌合して左縦框２２、右縦框２３と左右面材支持材３２、３３が連結され、左・右面材支持材３２、３３の面材取付部３６及び框取付部３７の表面が左右縦框２２、２３の表面２２ａ、２３ａで覆われるようにしてある。

このようであるから、左右面材支持材３２、３３が左右縦框２２、２３にそれぞれ嵌合

50

して強固に支持されるので、面材ユニット 4 が枠体 3 にしっかりと支持される。

また、建具体 2 の左右の縦部においては、左右縦框 2 2, 2 3 の表面 2 2 a, 2 3 a と面材 6 の表面 6 b との間に前記段差 a, b よりも大きな段差 c が生じ、その段差 c が見える。

【0017】

図 2、図 3 に示すように、枠体 3 の上框 2 0 と建具枠 1 の上枠 1 0 及び下框 2 1 と下枠 1 1 がピボットヒンジ 7 で室内外側方向に回転自在に連結され、建具体 2 は室内側に回転することで開放状態となる。

前記左縦框 2 2 にハンドル 8 が取付けてある。

【0018】

この実施の形態では、面材取付部 3 4, 3 6 に略 U 字状に形成されて面内方向内側に開口した取付面 3 4 a, 3 6 a に面材 6 がそれぞれ取付けてあり、上下面材支持材 3 0, 3 1 の面材取付部 3 4, 3 6 の面外方向両側の表面（面材支持片 3 8）と面材 6 の表面 6 b との間に同じ幅の段差がそれぞれ生じるようにしてあるので、面外方向両側の見栄えを同一にできる。

これに限ることはなく、面材取付部 3 4, 3 6 の面外方向一側、他側のどちらか一方にのみ面材 6 を取付けても良い。

【0019】

次に、各部材を説明する。尚、前記上框 2 0 は前記下框 2 1 と略同一構造であり、前記右縦框 2 3 は前記左縦框 2 2 と略同一構造である為、以下は下框 2 1 と左框 2 2 について説明し、上框 2 0 と右縦框 2 3 の説明は省略する。

前記下框 2 1 の本体 2 4 は図 4 に示すように横片 2 4 a の室内外側端に室内側鉤片 2 4 b、室外側鉤片 2 4 c をそれぞれ有して面内方向外側に開口した凹部 2 4 d を有している。

前記内向突部 2 5 は、前記本体 2 4 に設けた室内側片 2 5 a と室外側片 2 5 b、この室内側片 2 5 a と室外側片 2 5 b を連結する連結片 2 5 c を備え、その室内側片 2 5 a、室外側片 2 5 b はクランク形状に折曲して見込み寸法の大きな面内方向外側の外側部分 2 5-1 と、この外側部分 2 5-1 よりも見込み寸法の小さな面内方向内側の内側部分 2 5-2 を有したほぼ山形状である。見込み寸法とは面外方向（室内外側方向）の寸法である。

前記外側部分 2 5-1 の室内外側面よりも本体 2 4 の室内外側鉤片 2 4 b, 2 4 c が面外方向の外側（室内側、室外側）に位置している。

前記連結片 2 5 c にビスホール 2 5 d が形成してある。

以上の構成により、内向突部 2 5 を外側部分 2 5-1 と内側部分 2 5-2 とで山形状（凸形状）とし、内側部分 2 5-2 よりも面外方向外側の位置に面材取付部 3 4, 3 6 の取付面 3 4 a, 3 6 a が位置する。

従って、ピボットヒンジ 7 を固定するための平板状の裏板 7 a を挿入できるスペースを外側部分 2 5-1 で確保でき、ビスホール 2 5 d を設けるスペースを内側部分 2 5-2 で確保でき、そして内側部分 2 5-2 と面材 6 の端部とが面外方向において重なるように配置できるため、面材 6 を大きしつつビスホール 2 5 d、ピボットヒンジ 7 の裏板 7 a を設ける部位をコンパクトに配置して形成できる。

【0020】

前記左縦框 2 2 は図 5 に示すように、室内側板 2 7 と室外側板 2 8 を面内方向複数の連結片 2 9 で一体に連結した中空部を有する形状で、その室内側板 2 7 と室外側板 2 8 が面内方向内側の連結片 2 9 よりも面内方向の内側に突出して前述の内向凹部 2 6 を形成している。

【0021】

前記左縦框 2 2 と下框 2 1 は図 6 に示すように、左縦框 2 2 の内向凹部 2 6 を形成する連結片 2 9 の下端部分を切断等して除去し、下框 2 1 の内向突部 2 5 を、前記連結片 2 9 の切断した部分を通して左縦框 2 2 の連結片 2 9（除去した連結片 2 9 よりも面内方向外側に位置する連結片 2 9）に押しつけ、ビスホール 2 5 d にビスを螺合して連結する。

これによって、左縦框 2 2 の室内側板 2 7、室外側板 2 8 の下端面が下框 2 1 の本体 2 4 の室内側鉤片 2 4 b、室外側鉤片 2 4 d の折曲部に当接して左縦框 2 2 の表面 2 2 a と室内外側鉤片 2 4 b、2 4 c の表面が面一に連続する。

なお、右縦框 2 3 と下框 2 1、左縦框 2 2 と上框 2 0、右縦框 2 2 と上框 2 0 は前述と同様に連結される。

【0022】

前記下面材支持材 3 1 は図 4 に示すように、室内側板 3 4 b、室外側板 3 4 c、内側板 3 4 d、外側板 3 4 e で矩形中空断面の中空部を有する補強部 3 1 a を備えた長尺材で、内・外側板 3 4 d、3 4 e に中空部に臨むビスホール 3 4 f が形成してある。

更に、前記下面材支持材 3 1 には、室内側板 3 4 b 及び室外側板 3 4 c の面内方向外側端部から更に面外方向外側へ延出した第 1 垂直板 3 4 g と、第 1 垂直板 3 4 g の面内方向外側端部から面外方向外側に延出した水平板 3 4 h と、水平板 3 4 h の面外方向外側端部から面内方向内側に延出した面材支持片 3 8 と、水平板 3 4 h の面外方向外側端部から面内方向外側に延出した第 2 垂直板 3 4 i とが形成してある。

前記下面材支持材 3 1 の面材取付部 3 4 の略 U 字状の取付面 3 4 a は、第 1 垂直板 3 4 g の面外方向外側面と、水平板 3 4 h の面内方向内側面と、面材支持片 3 8 の面外方向内側面とで構成されている。

この取付面 3 4 a の内、第 1 垂直板 3 4 g の面外方向外側面（前述の接着面）に接着剤等を塗布することで、面材 6 を面材取付部 3 4 と接着固定している。

前記框取付部 3 5 は、外側板 3 4 e、水平板 3 4 h の面内方向外側面と、第 1 垂直板 3 4 g、第 2 垂直板 3 4 i の面外方向内側面と、第 2 垂直板 3 4 i の面内方向外側面とで構成されている。

第 1 垂直板 3 4 g と水平板 3 4 h と第 2 垂直板 3 4 i とで下框 2 1 の内向突部 2 5 の室内側片 2 5 a、室外側片 2 5 b と同様にクランク形状を構成し、框取付部 3 5 は見込み寸法の大きな面内方向外側の外側部分 3 5-1 と、この外側部分 3 5-1 よりも見込み寸法の小さな面内方向内側の内側部分 3 5-2 を有している。

これによって、内向突部 2 5 が外向凹部 3 5 a に嵌合する。

【0023】

前記框取付部 3 5 の内側部分 3 5-2 の見込み寸法は、前記面材取付部 3 4 の見込み寸法よりも小さく、面材 6 が補強部 3 1 a の室内側板 3 4 b、室外側板 3 4 c、内側板 3 4 d、外側板 3 4 e で形成された中空部よりも下方に突出して取付けてあり、面材 6 が内側部分 3 5-2 の面外方向外側に位置する。

これによって、面材 6 の上下寸法を大きくできる。

【0024】

前記面材支持片 3 8 は面材 6 の表面 6 b に接して面材 6 を支持し、この面材支持片 3 8 の表面と面材 6 の表面 6 b との間に前述の段差 a、b が生じる。

【0025】

前記左面材支持材 3 2 は図 5 に示すように、室内側板 3 6 b、室外側板 3 6 c、内側板 3 6 d、外側板 3 6 e で矩形中空形状の第 1 中空部を有する補強部 3 2 a を備えた長尺材で、この中空部の見込み寸法は前記上下面材支持材 3 0、3 1 の補強部 3 1 a の中空部と同一である。

更に、前記左面材支持材 3 2 には、室内側板 3 6 b 及び室外側板 3 6 c の面内方向外側端部から更に面外方向外側へ延出した第 1 延出板 3 6 f と、第 1 延出板 3 6 f の面内方向外側端部から面外方向外側に延出した第 2 延出板 3 6 g と、第 2 延出板 3 6 g の面外方向外側端部から面内方向内側に延出した面材支持片 3 9 と、第 2 延出板 3 6 g の面外方向外側端部から面内方向外側に延出した第 3 延出板 3 6 h とが形成してある。

前記左面材支持材 3 2 の面材取付部 3 6 の略 U 字状の取付面 3 6 a は第 1 延出板 3 6 f の面外方向外側面と、第 2 延出板 3 6 g の面内方向内側面と、面材支持片 3 9 の面外方向内側面とで構成されている。

この取付面 3 6 a の内、第 1 延出板 3 6 f の面外方向外側面（前述の接着面）に接着剤

10

20

30

40

50

等を塗布することで、面材 6 を面材取付部 3 6 と接着固定している。

【0026】

また、前記左面材支持材 3 2 には、第 1 延出部 3 6 f の面内方向外側端部から面内方向外側へ延出した第 4 延出部 3 6 i と、一对の第 4 延出部 3 6 i の面内方向外側端部同士にわたって設けられた固定板 3 6 j とが形成されている。

前記框取付部 3 7 は、固定板 3 6 j、第 2 延出板 3 6 g の面内方向外側面と、第 3 延出板 3 6 h の面外方向内側面と、第 3 延出板 3 6 h の面内方向外側面と、第 4 延出板 3 6 i の面外方向外側面とで構成されている。

この第 1 延出板 3 6 f と第 2 延出板 3 6 g と第 3 延出板 3 6 h とでクランク形状を構成し、外側板 3 6 e と一对の第 1 延出板 3 6 f と一对の第 4 延出板 3 6 i と固定板 3 6 j と

10

で矩形中空断面の第 2 中空部を形成している。

第 2 中空部の見込み寸法は一对の第 3 延出板 3 6 h 間の間隔よりもより小さく、面材 6 が第 2 中空部の面外方向外側に位置する。

これによって、面材 6 の左右寸法を大きくできる。

【0027】

前記面材支持片 3 9 が面材 6 の表面 6 b に接して面材 6 を支持している。

この面材支持片 3 9 に、前記左右縦框 2 2、2 3 の室内側板 2 7、室外側板 2 8 の内向凹部 2 6 を形成する部分 2 7 a、2 8 a が接している。

この時、前述の部分 2 7 a、2 8 a に複数の突片 2 7 b、2 8 b を設け、その突片 2 7 b、2 8 a が接するようにすることでしっかりと安定して支持できる。

20

【0028】

そして、図 6 に示すように、左・右面材支持材 3 2、3 3 の補強部 3 2 a の室内・外側板 3 6 b、3 6 c と内側板 3 6 d の上下端部が切り欠かれて補強部 3 2 a の前述した各板の上下端部の端面が前記上・下面材支持材 3 0、3 1 の補強部 3 1 a の内側板 3 4 d に当接し、前記上・下面材支持材 3 0、3 1 の補強部 3 1 a のビスホール 3 4 f と左・右面材支持材 3 2、3 3 の外側板 3 6 e がビスで連結され、上下面材支持材 3 0、3 1 の面材支持片 3 8 の長手方向端面が左右面材支持材 3 2、3 3 の面材支持片 3 9 の端面に接し、各面材支持片 3 8、3 9 の表面は面一状態で四周連続する。また、第 2 垂直板 3 4 i、第 3 延出板 3 6 h も面材支持片 3 8、3 9 の表面とともに面一状態で四周連続する。

【0029】

30

前記左縦框 2 2、下框 2 1 と面材ユニット 4 の縦部、下部は、図 6、図 7 に示すように、下面材支持材 3 1 の框取付部 3 5 の外側部分 3 5-1 が下框 2 1 の内向突部 2 5 の外側部分 2 5-1 の表面に嵌合して下框 2 1 の室内外側鉤片 2 4 b、2 4 c の折曲部に接する。

前記左面材支持材 3 2 の框取付部 3 7 が左縦框 2 2 の内向凹部 2 6 に嵌合し、面板支持片 3 9 も内向凹部 2 6 に嵌まり込んで左面材支持材 2 2 の表面 2 2 a で覆われる。

このようであるから、左面材支持材 3 2 が左縦框 2 2 で覆われて見えない。

この状態で、左面材支持材 3 2 の固定板 3 6 j と左縦框 2 2 の面内方向内側の連結片 2 9 とをビスで連結する。

40

また、下面材支持材 3 1 の補強部 3 1 a のビスホール 3 4 f には、上下方向に雌ねじが形成されており、下框 2 1 の横片 2 4 a の図示しない貫通孔、連結片 2 5 c の孔 4 0 を通ったビスが、下方から下面材支持材 3 1 の補強部 3 1 a のビスホール 3 4 f に螺合することで、下框 2 1 の連結片 2 5 c と下面材支持材 3 1 の外側板 3 4 e とが連結される。

【0030】

前記右縦框 2 3、下框 2 1 と面材ユニット 4 の縦部、下部及び、上框 2 0 と左右縦框 2、2 3 と面材ユニット 4 の縦部、上部も前述と同様に連結され、右面材支持材 3 3 が右縦框 2 3 で覆われて見えない。

【0031】

前述の実施の形態では第 1・第 2 框を上框 2 0、下框 2 1 とし、第 3・第 4 框を左縦框 2 2、右縦框 2 3 としたが、第 1・第 2 框を左・右縦框、第 3・第 4 框を上、下框として

50

も良い。

つまり、図1の建具体2を90度向きを変えても良い。

この場合には、第1・第2面材支持材と第3・第4面材支持材も変更する。

また、前述の実施の形態では、左縦框22と右縦框23の見付け方向の幅（左右方向の幅）が同じであったが、左右の縦框で見付け方向の幅を異ならせてもよい。

【図面の簡単な説明】

【0032】

【図1】本発明の実施の形態を示す建具の内観図である。

【図2】図1の縦断面図である。

【図3】図1の横断面図である。

【図4】建具の下部拡大断面図である。

【図5】建具の左縦部拡大断面図である。

【図6】左縦框と下框の連結部と左面材支持材と下面材支持材の連結部の斜視図である。

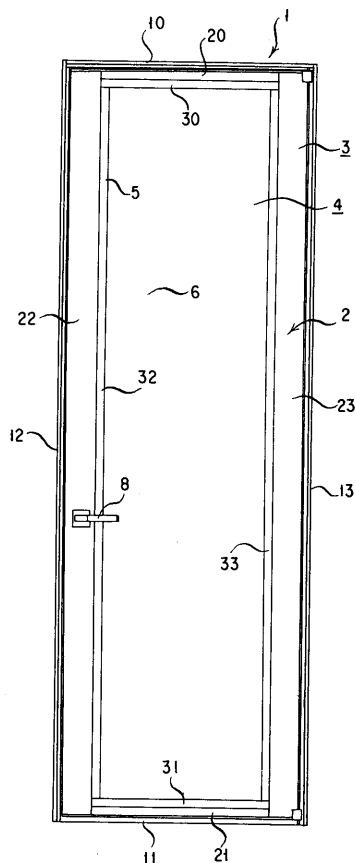
【図7】建具体の左下部の斜視図である。

【符号の説明】

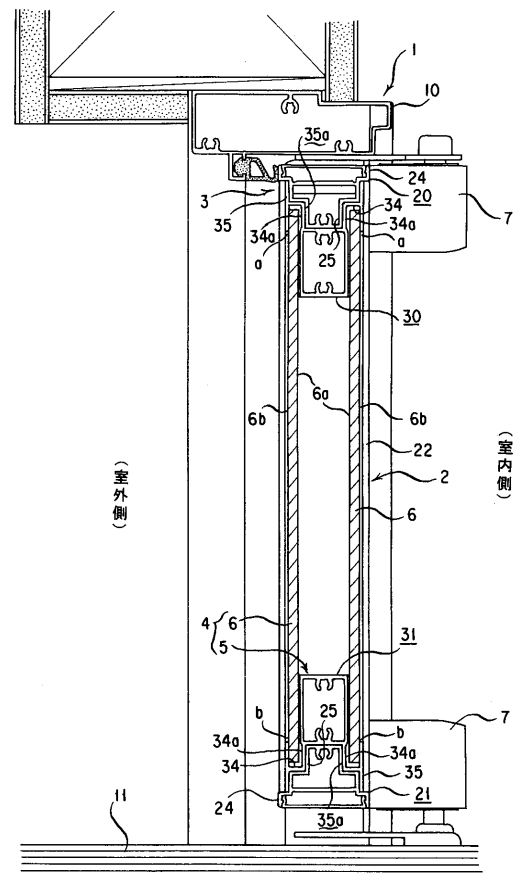
【0033】

2…建具体、3…枠体、4…面材ユニット、5…面材支持枠、6…面材、6b…表面、20…上框（第1框）、21…下框（第2框）、22…左縦框（第3框）、23…右縦框（第4框）、24…本体、25…内向突部、26…内向凹部、30…上面材支持材（第1面材支持材）、31…下面材支持材（第2面材支持材）、32…左面材支持材（第3面材支持材）、33…右面材支持材（第4面材支持材）、34…面材取付部、35…框取付部、35a…外向凹部、35-1…外側部分、35-2…内側部分、36…面材取付部、37…框取付部、38…面材支持片、39…面材支持片。

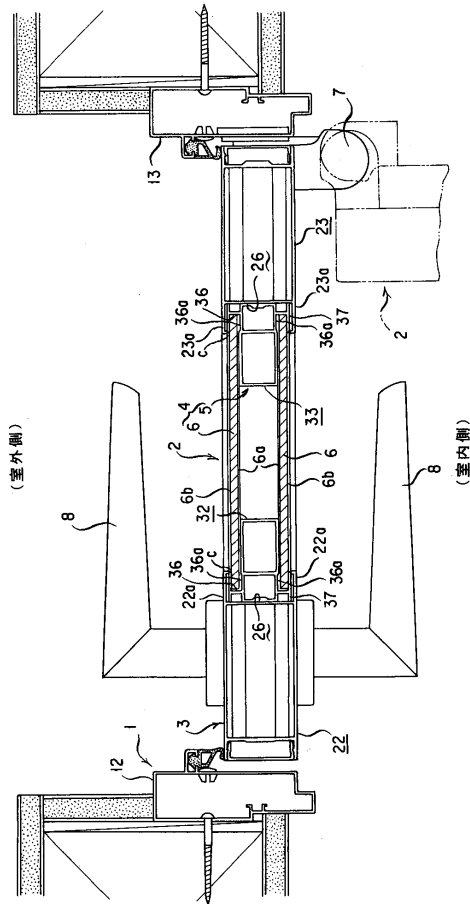
【図1】



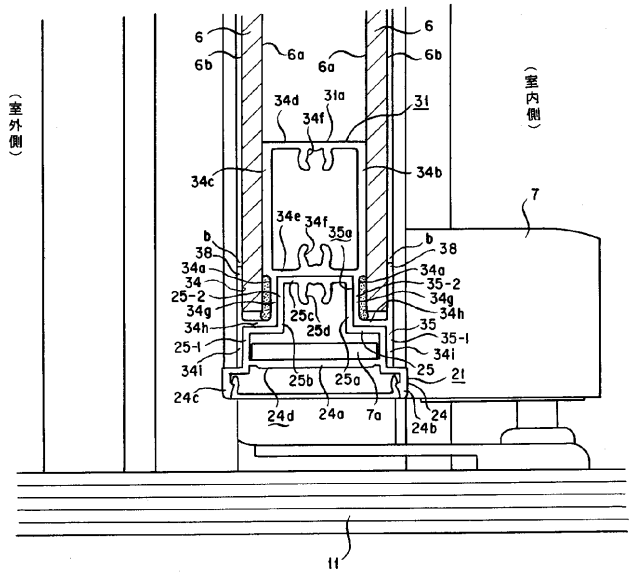
【図2】



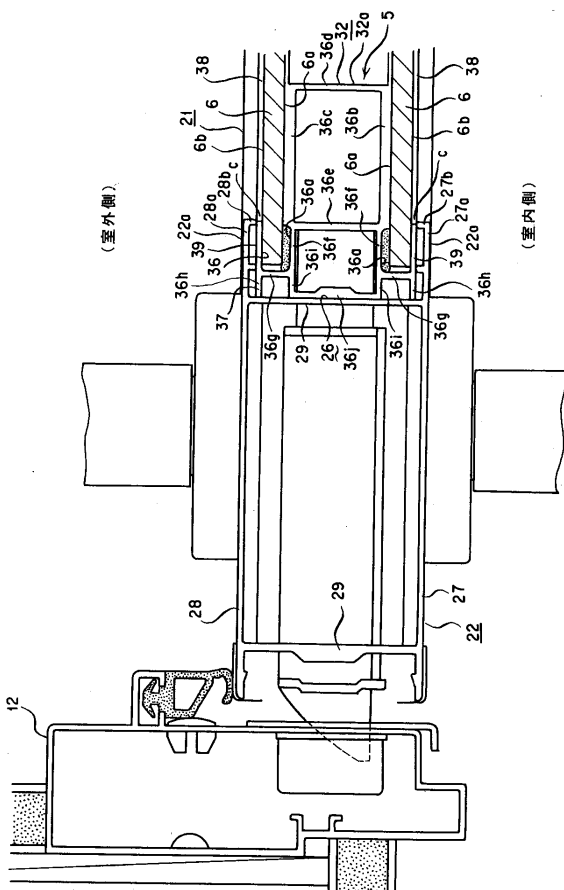
【図 3】



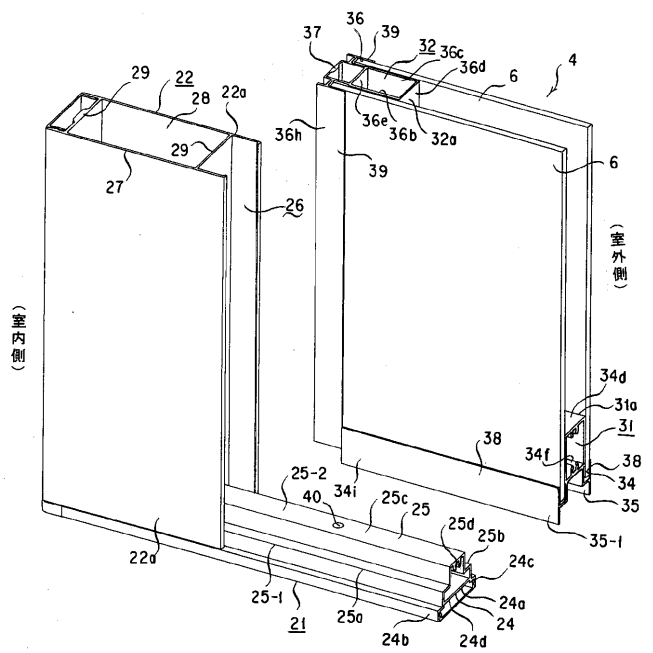
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

